



カウバック株式会社

SDGsレポート 2025年

報告対象期間 2024年4月～2025年3月

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

すべての社員が安心して働き続けられる経営

●バドミントン部活動開始



●岩倉総合高等学校 地域の産業研究への協力



●アダプトプログラムに参加



●いわくらゼロカーボン事業者 認定制度ブロンズで登録



製品規格や製造工程を見直し、省資源での生産とロスの削減を実施 プラスチックを扱うことの責任を持ち資源循環に取り組む

●生産時に発生するポリエチレンのロスを再ペレット化し、 自社製品に再利用する【目標値 年間10t 達成】

シーラント製膜時に発生するロスを自社で使用する製品に再利用する（ポリ袋、PRバック）

<2023年度実績> 2,481kg/年
<2024年度実績> 4,435kg/年

射出成型時に発生する端材の粉碎、再投入装置の導入

<2023年度実績> 0kg/年
<2024年度実績> 14,816kg/年



原料ペレット

サステナブルな商品ブランドの開発導入

●スパウトやシーラントフィルムにバイオマス素材を使用した環境対応規格袋 計8アイテムの販売実績 <2024年度実績 13,350枚>



●環境対応製品開発に向けた知識の向上

◆リサイクル原料の種類

ポストインダストリアルリサイクル(PIR原料)

製品製造工程で発生した材料をリサイクルすること。

ポストコンシューマーリサイクル(PCR原料)

市中で使用済みの製品を回収、再生資源化すること。

◆プラスチックのリサイクル方法について

マテリアルリサイクル

使用後の製品を細かく砕いて、同じ製品の材料や原料として再利用する方法。

メカニカルリサイクル

マテリアルリサイクル樹脂をさらに高温・減圧下で一定期間処理し、熔融ろ過で再生材中の汚染物質を除去する方法。

ケミカルリサイクル

プラスチック廃棄物を化学的な手法によって分子に戻し、樹脂原料に作り直して、再び樹脂を製造する方法。